©2019 GUSHIKEN,Tohru

午後Ⅰ試験の解答パターン 追加分（令和2年度試験受験用）

平成31年度の本試験問題より抜粋した，最新の解答パターンです。点線に沿って切りとり，本書各節の解答パターンのページに挟んでお使い下さい。

プロジェクト・スコープ・マネジメント　午後Ⅰ解答パターン②の追加分

●スコープ・マネジメント計画

顧客側の協力体制に応じたスコープ計画に関する解答パターン

発生した状況	パッケージを用いた開発を行う際に，**既存の業務をよく知っている顧客側の社員の参画**が難しくなった。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[リスク]パッケージで対応する業務の範囲を確定するのに時間がかかり，**スケジュールどおりにスコープが確定できない**可能性がある。	**既存の業務をよく知っている顧客側の社員**が、どの程度工数を投入できるかによってプロジェクトのスコープを確定する。	29	1	3(1)
	要件定義のみの契約を締結し，**要件定義を完了してから，その後の工程で必要な工数の見積もりを行い**，改めて契約を締結するようにする。	29	1	3(2)

スコープ妥当性確認に関する解答パターン

発生した状況	**スコープの定義**を行いたい。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]プロジェクトとして実施する**作業要素に抜けがないこと**を自身で確認したい。	WBSの最下層要素（ワークパッケージ）について，それらが**すべて完了すれば，プロジェクトが確実に完了していることを確認**する。	31	2	1

プロジェクト・タイム・マネジメント　午後Ⅰ解答パターン③追加分

●スケジュール・マネジメント計画

1．スケジュール計画の策定に関する解答パターン

発生した状況	設計工程の**初回レビュー時期をレビューイが決める**こととなっている。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[リスク]担当者が認識する品質と実際の品質にギャップがある場合，**想定以上に実際の品質が担当者の想定以上低かった時に発見が遅れ**，進捗に影響する場合がある。	初回レビューの実施時期を**成果物作成の初期段階**にする。	31	3	2(2)
	初回レビューの実施時期を**あらかじめ決めておく**ルールとする。	31	3	2(2)

発生した状況	生産管理システムの開発を行い、このシステムで，所定の期間までに製品を製造し，輸出ができるようにする必要がある。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[リスク]国際機関より，**製造管理及び品質管理に関する基準の要求**を満たしたものとしての認証を受ける必要があり，これに時間がかかることからプロジェクトスケジュールを圧迫する可能性がある。	認証に対応している（認証を満たした製造プロセスを実現可能な）パッケージ製品を，変更せずに適用する。	29	1	1

発生した状況	サービス開始後に，**一部の機能を追加でサービス開始**することとなった。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[リスク]追加でサービス開始する機能の訓練を行う際，**同じ時期にその環境を利用した作業があると**影響が生じる。	追加でサービス開始する機能の検証を行うための**専用の訓練環境**を用意する。	31	1	3(1)

発生した状況	データ移行にかけられる時間が制限されており，時間内に実施できる確証が無い。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
移行に掛けられる時間内に移行が完了しない。	移行リハーサルを実施し，**手順に不備がないことを確認**する。	31	1	2(1)
	移行リハーサルを2回実施し，**1回目の移行リハーサルで検出された不備の修正結果を確認**するため。	31	1	2(2)

プロジェクト・コスト・マネジメント　午後Ⅰ解答パターン④追加分

●コスト・マネジメント計画

１．コスト抑制計画に関する解答パターン

発生した状況	SaaSサービスをカスタマイズし，システムを構築することとなった。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[課題]**カスタマイズ規模に応じた保守費用**が発生し，予算計画を圧迫する可能性がある。	業務プロセスを見直し，用意されている機能だけを用いるようにする。	30	1	1(1)
[目標]必要最低限の利用料金で利用できるように計画したい。	システムに移行するデータについて，今後の業務に用いる最小限のデータだけに限定する。	30	1	2(1)
	サービス時間及び目標復旧時間について，業務処理量や障害時の最低限の業務継続の観点から最低限のレベルに設定する。	30	1	3(3)

発生した状況	SaaSサービスを利用することを前提に予算計画を策定することとなった。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[課題]利用者数，データ容量などの推移に基づき，適切に予算を管理する必要がある。	月次で利用者数，データ容量などの対意を把握し，**翌月の契約における利用者数及びデータ容量を把握**し，適切な予算計画を立案する。	30	1	1(2)

４．EVMの導入に関する解答パターン

発生した状況	EVMにおける進捗管理を強化したい			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]プロジェクト全体の遅れにつながる予兆を検知したい。	クリティカルパス上の活動郡におけるSPIを重点的に監視する	31	3	3(3)

プロジェクト品質マネジメント　午後Ⅰ解答パターン⑤追加分

●品質マネジメント計画

８．機能改修のテストの品質管理に関する解答パターン

発生した状況	既存のシステムに対して，繰り返し改修を行い，継続的にシステムを開発する。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]内部設計時に実施する影響調査の不備により，製造時やバグへの対応時に，設計内容の誤りが発見される可能性がある。	結合テストケースを，内部設計工程完了直後ではなく，単体テスト完了後に，内部設計書に基づいて作成する。	29	3	1(1)
[目標]プログラム及びデータ構造が複雑化しているため，異常終了を引き起こすようなバグが発生した際に，後続のテストが実行できない場合を考慮する必要がある。	後続のテストが実施できなくなるようなバグが発生した場合，テストケースの実施を一時的に中断し，バグ内容の確認・修正などを行う計画とし，それによる遅延を織り込んだ余裕日数を含めたスケジュールを策定する。	29	3	1(2)

●品質コントロール

ドキュメント品質（網羅性）のコントロールに関する解答パターン

発生した状況	内部設計工程において，既存の内部設計書の改定箇所及び新規作成箇所の特定に漏れが発生した。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]今後の改修案件において，成果物の品質向上に向けた対処を実施する必要がある。	内部設計工程における影響調査を行う際，外部設計書と内部設計書の対応関係を確認する作業において問題が生じていないかを確認する。	29	3	3(4)

テスト品質のコントロールに関する解答パターン

発生した状況	開発を経るごとに，単体テスト工程で摘出されるべきバグが，結合テストで摘出される現象が増加した。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]テストの手戻りが増え，効率が下がる。	単体テストケースの種類（ホワイトボックステスト，ブラックボックステスト，回帰テスト　等）を増やす。また，この結果，テスト品質が向上したことを確認するために，単体テスト工程でのバグ抽出漏れ件数が減っていることを確認する。	29	3	2(3)

１９．バグ分析とアクションによる品質コントロールに関する解答パターン

発生した状況	後工程においては，より上流工程で混入した不具合ほど摘出・修正に多くの工数がかかり，納期までに品質を確保できない場合がある。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]工程毎の摘出欠陥密度を更に分析し，品質に対する高度な判断ができるような指標を確立したい。	各工程において，基本設計から現在の工程までの工程群で混入させた欠陥を，現在の工程完了までにどれだけ摘出したか，という観点で"**既工程混入欠陥摘出率**"の指標を設ける。	30	2	1(2)

発生した状況	上流で混入し，テスト工程まで摘出が遅れた欠陥について，どのような対応が適切であったか分析したい。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]欠陥の摘出・修正にはコストがかかるが，予防の対策を実施する際もその分コストが発生するため，一概に予防対策を行うのがよいとは言いきれない。	欠陥の対処にかかったコストが，予防にかかるコストを上回る場合，予防の対策を行うべきと判断する。	30	2	3(2)

発生した状況	新しい品質管理指標を制定することとなった。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]制定した新たな品質管理指標の有用性を評価したい。	**過去の品質良好プロジェクトと品質不良プロジェクトに新たな品質指標を当てはめ**，この結果の定量的数値が正しく品質を評価しているかを確認する。	30	2	3(3)

プロジェクト人的資源マネジメント　午後Ｉ解答パターン⑥追加分

●プロジェクトチーム編成

５．ユーザ教育計画に関する解答パターン

発生した状況	マネジメント標準がなく，定量的マネジメントが根付いていない組織の開発において，**定量的マネジメントを導入**する。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]自分の**仕事への自負と責任感が強い社員**に，その特徴を生かしつつ定量的マネジメントを浸透させたい。	担当者自身が進捗遅れを起こしたとき，**具体的な裏付けのあるリカバリ策を提案させる**。	31	3	2(1)
	担当者自身が進捗遅れを起こしたとき，**リカバリ状況を定量的に報告させる**。	31	3	2(1)
[目標]自分の**仕事への自負と責任感が強い社員**に，その特徴を生かしつつ，実行の意欲を損なわないように，定量的マネジメントを浸透させたい。	定量的マネジメントを導入する意義について認識を共有した上で，チームメンバ同士で十分に議論させ，**具体的な改善案を提案させる**。	31	3	2(3)

６．開発メンバのアサインに関する解答パターン

発生した状況	大規模開発経験の少ない会社に大規模開発の業務を委託する。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[リスク]大規模開発で重要となるプロジェクト管理ルールが十分に浸透しておらず，進捗遅れや品質低下等が発生する可能性がある。	委託先におけるプロジェクト管理の重要性に関する意識を変えるための**推進役をアサイン**する。	30	1	3(1)
	委託先向けに，チームとしての業務を進めることの重要性について**勉強会を開催**する。	30	1	3(2)

発生した状況	設計工程の経験が少ない会社に対し，今後設計工程からの開発を委託できるようにしていく必要がある。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]委託先の会社のメンバが設計工程の進め方をイメージできず，開発を推進できない。	**設計レビューに自社社員も参画**するように調整する。	30	1	3(3)

発生した状況	開発メンバのスキル（業務知識，開発技術，利用するパッケージの知識 等）不足している。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]設置した**PMOが，作業内容について理解できず**,適切な進捗管理ができない。	プロジェクトで実施する**作業内容を理解することができ**，進捗管理を把握することができる人材をPMOのメンバとして選定する	31	2	2(2)

プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント　午後Ｉ解答パターン⑦追加分

●コミュニケーション計画

１．定例会議の整備に関する解答パターン

発生した状況	進捗会議の場を有効活用したい。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]定例会議について,報告の場としてだけでなく，**リカバリ策の共有や，課題解決に必要な調整の場として活用**したい。	各自の進捗状況及び今後の見通しについて**進捗会議の前に，メンバ間で把握・分析し，必要なリカバリ策を検討するルール**とする。	31	3	3(2)

プロジェクト・リスク・マネジメント　午後Ⅰ解答パターン⑧追加分

●リスク対応計画

ドローンを用いたシステムの開発に関する解答パターン

発生した状況	海外で，ドローンを用いたシステムを構築する。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]**ドローンの飛行に法的な制約**があり，利用できない可能性がある。	国家関連機関に，**ドローンの飛行に関する法的な制約があるかを確認**する。	31	2	3(3)

AIを用いた分析機能の実現に関する解答パターン

発生した状況	AIを用いた分析機能を実現する予定だが，データが十分にそろっておらず，分析軸も定まっていない。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]AIを用いた機能が，十分に動作しない可能性がある。	AIを用いる機能のみ**リリースを先送り**にする。	29	1	4

プロジェクト・調達・マネジメント　午後Ⅰ解答パターン⑨追加分

●調達マネジメント計画

２．調達先の選定に関する解答パターン

発生した状況	これまで**請負契約での取引の無い会社**に開発（開発の一部）を委託することになった。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[リスク]委託先の会社における請負契約能力が把握できていないことから，品質やスケジュール上の問題が発生する可能性がある。	委託先の会社の作業の**進捗及び品質の確認を丁寧に実施**してもらい，**その内容が確認可能な開発条件**で契約を締結する。 また，この通り作業を進めているかを監視し，問題がある場合は委託先の経営層に対して**改善・管理の強化**を求める。	29	2	2
	委託先の会社が請負契約以外で作業を委託した際の**開発記録を確認**し，そのときの**品質実績値が品質目標値に対してどの程度乖離が合ったか**を把握し，これを元に，今回の請負契約で委託する際の**品質評価時の実績値と比較**することで，品質の妥当性を評価する。	29	2	4(1)

発生した状況	自社のリーダと直接面識があるエンジニアが所属している会社を調達先に指定して，準委任契約で委託を行う。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]自社のリーダが，委託先のエンジニアに対して，面識があるがゆえに，契約上で直接作業依頼をできないにもかかわらず依頼してしまう可能性がある。	自社のリーダに対し，**契約上，直接作業を依頼できる相手が誰か**を伝え，これを逸脱しないように注意喚起を行う。	29	2	3(3)

発生した状況	設計工程から製造・テストまで一貫して責任を持たせる形でベンダに開発を委託したい。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[問題]（派遣契約で委託した場合）調達先は完成責任を負っていないため，顧客に対して完成責任を果たすための自社側の負荷が増える。	調達先に，請負契約で受託してもらえるよう交渉する。	29	2	1

プロジェクト・ステークホルダ・マネジメント　午後Ⅰ解答パターン⑩追加分

●ステークホルダ一特定

ステークホルダ登録簿の作成に関する解答パターン

発生した状況	過去の開発で会議体や責任者への報告経路が不明確で，適切に報告されていなかったことにより手戻りによるスケジュール遅延が発生した。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[目標]主要な**ステークホルダに適切な対応をとるための会議体や報告経路を検討**したい。	**ステークホルダ登録簿を作成**してステークホルダの特徴を整理する。	30	1	1(1)

発生した状況	顧客側のプロジェクト責任者に，中途入社で**最終意思決定者に直接報告したことがない人物がアサイン**された。			
リスク・問題・目標	取るべき対応	出題		
		年	問	設問
[リスク]顧客側のプロジェクト責任者が**最終意思決定者に適切に報告できず**，手戻りが発生する可能性がある。	顧客側のプロジェクト責任者が最終意思決定者に報告する内容について，**顧客側のプロジェクト責任者の上席者が事前に内容を確認**する役割を追ってもらうように調整する。	30	1	1(2)